



学校だより



6月号

令和8年5月29日
横浜市立善部小学校
校長 朝川 健太郎

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/zenbu/>

出会いと学び、そして雨の日のひととき

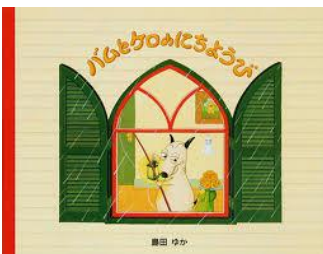
副校長 小西 隆一郎

本年度より着任いたしました副校長の小西隆一郎です。

これまで希望ヶ丘小やさちが丘小に勤務していたことがあり、球技大会や水泳大会等で善部小に訪れる機会がありました。その際に出会った子どもたちの元気な姿や、地域の温かな雰囲気や今でも懐かしく思い出しております。また、かつての教え子や保護者の方と再会することもあり、思いがけない出会いに心が温くなる毎日です。

保護者の皆様や地域の皆様とともに、子どもたち一人ひとりの成長を日々見守り、大切に育んでいきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

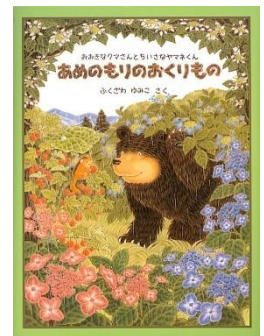
さて、5月23日の土曜参観には、ご多用の中ご来校いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは少し緊張しながらも、「がんばろう」という気持ちが表れた表情で、意欲的に学習に取り組んでいました。友だちと考えを伝え合う姿や、一生懸命に発表する姿から、日頃の学びの積み重ねと成長を感じていただけたことと思います。



私自身、絵本が大好きで、季節の絵本を通して「今の季節」を味わう時間を大切にしています。これから梅雨の時期に入るので雨にちなんだ絵本、2冊紹介したいと思います

1冊目は『バムとケロのにちようび』。雨の日に外に出られず、はじめは少しがっかりするケロちゃんに対して、バムが「おうちの中でも楽しく過ごそう」と声をかける場面があります。一緒におそうじをしたり、本を読んだりする中で、だんだんと楽しい時間になっていく様子が、温かく、微笑ましく描かれています。細やかな絵も多く、読むたびに新しい発見があり楽しむことができます。

2冊目は『あめのもりのおくりもの』。雷が苦手なクマさんと、元気なヤマネくん。大雨の日、ヤマネくんは一人で出かけてしまいましたが、川があふれて大変なことに。友だちを思う気持ちから、クマさんは怖さをこらえて助けに向かいます。「友だちを思う気持ち」と「勇気」。怖くても大切な人のために一歩踏み出す姿には心を打たれます。また、雨の森やあじさいの美しい風景も心に残る一冊です。



雨の日は、外遊びが思うようにできないこともありますが、その分、教室や図書室で落ち着いて本に親しんだり、友だちとゆっくり言葉を交わしたりできる貴重な時間でもあります。絵本を通して季節を感じるひとときが、子どもたちの心にやさしく広がっていくと嬉しいです。